

事業概要票

事例NO. 61

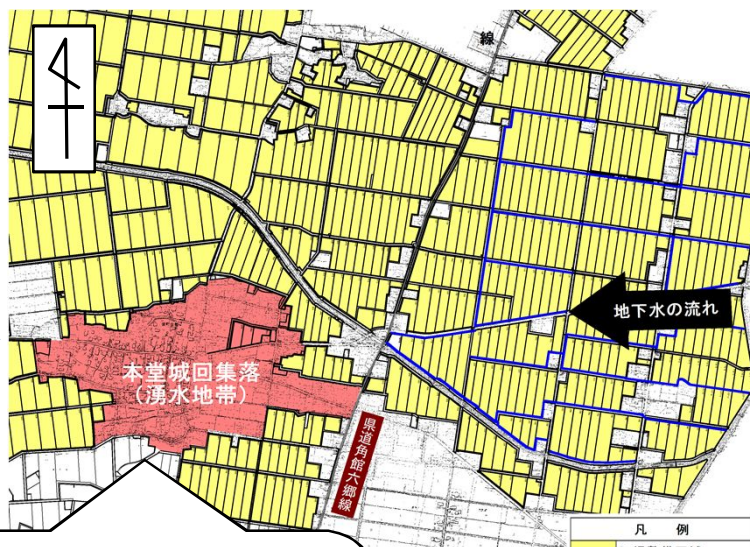
事例キーワード

湧水池の保全
稀少生物の保護

事業名	農地集積加速化基盤整備事業『本堂城回』地区
事業担当機関	仙北地域振興局農林部 農村整備第二課
事業期間	平成18年度～平成27年度
実施場所	仙北郡美郷町本堂城回
事業概要	全体事業費 6,663百万円
	工事概要 区画整理工 436.6ha
	事業の目的 ○ほ場の大区画化を図り、生産性向上による低コスト化を推進 ○用排水分離による農業用水の安定確保と排水条件の改善、水管理の省力化、維持管理費の節減 ○農道の適正配置と所要幅員の確保による機械化営農の効率化 ○暗渠排水によって乾田化を図り、農地の汎用化を促進し、輪作体系の確立と多様な作物の産地づくり ○大規模経営体へ農地の利用集積を図り、経営基盤を強化する
環境配慮の内容	○奥羽山脈の麓に広がる『千屋扇状地』の端部に位置しており、豊富な湧水池が多数存在している。 ○そこに生息しているトミヨ属雄物型（秋田県RDB絶滅危惧種ⅠA類）保護のため、ほ場整備工事により湧水を枯渇させない工夫が求められた。 ○また、湧水は貴重な観光資源、セリ栽培さらには冬季の消雪と多岐にわたり住民生活と関係がある。 ○以上のことから、下記のとおり調査と対策工法を行った。 1. 年間を通して地区全体の地下水位を観測し、その挙動や傾向を把握 2. 地下浸透促進のため、底穴があるコンクリート水路を施工し、地下水補給と湧水の枯渇を防ぐ
施工後の状況	○工事完了後も地下水位観測を継続しているが、湧水の枯渇は無く、トミヨ属の遊泳も確認した。 ○今後の課題として、排水路には水田から土砂流入があるため、高い浸透性能を維持するための清掃活動が必要と考えられる。 ○地域住民に対し、定期的な維持管理活動が可能な体制の確立など、ソフト面での働きかけをしていきたい。

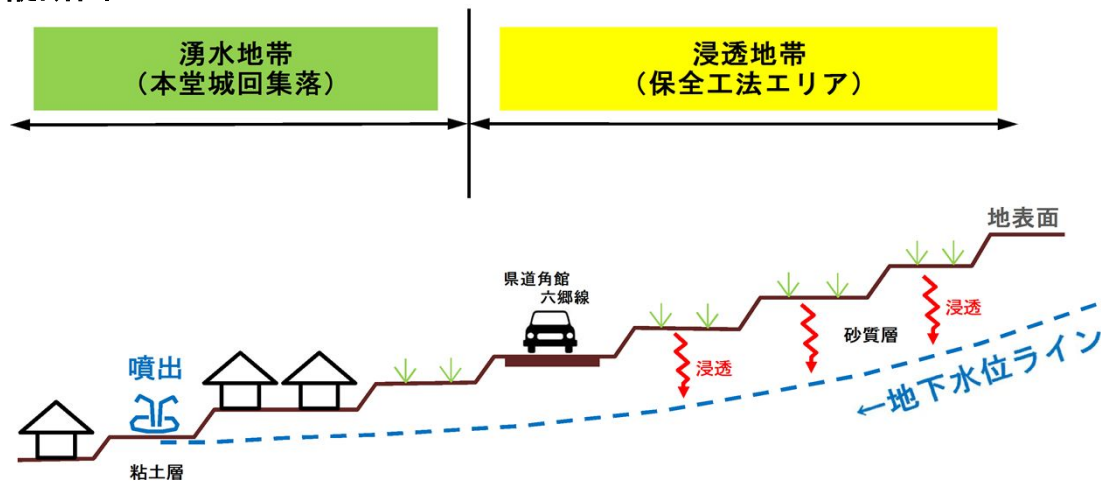
図面、写真、説明

○位置、保全対象



トミヨ属雄物型（ハリザッコ）

○縦断図



○底穴あきコンクリート水路



水路全景



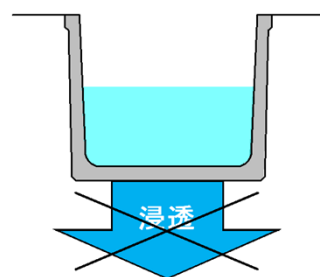
底穴用ブロック
(ポーラスコンクリート製)



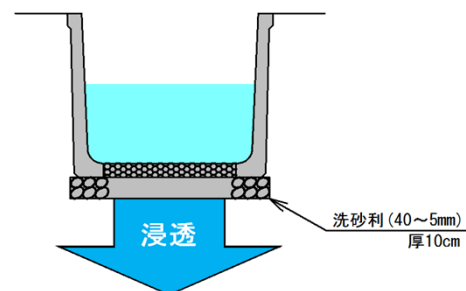
底穴用ブロックの浸透性

※ポーラスコンクリート（透水性コンクリート）とは
主に粒径の大きい骨材を使い、空隙が多い特殊コンクリート。
外見は『雷おこし』のようなもので、一般的なコンクリートとは
異なり、透水性・通気性があるが、高い強度は得られない。

排水路の地下浸透イメージ図



一般的なコンクリート水路



底穴あきコンクリート水路

※採用